

【河川】 国、県、市、町の危機管理担当者による 「最上川上流危機管理演習（村山地区）」を実施

令和4年10月25日
山形河川国道事務所

1. 背景／目的

○背景

最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会では、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく「最上川上流域の減災に係る取組方針」により危機管理演習を実施

○目的

大規模洪水時に市町が担う役割を再確認するもので、市町が実施する住民避難の検討、避難情報の発令、被災状況の把握及び関係機関との情報共有に重点を置いて実施。的確な情報伝達と**危機管理担当者の災害対応能力の向上**を図り、豪雨災害に備えることを目的。

2. 演習概要

- 日時 : 令和4年10月25日(火) 10:00～16:30
- 開催場所 : 山形河川国道事務所
- 参加者 : 中山町、上山市、山形市、大江町、山形県、朝日町、山辺町

➢ 演習方法

①簡易ロールプレイング訓練

気象状況や河川水位の状況に応じたいくつかの段階毎に対応行動等の手順を確認した。

②課題解決型DIG(Disastr Imagination Game)訓練

予め対応方法が検討されていない突発的に起こる事象に対して、限られた状況の中で最善行動をディスカッションしながら検討を行った。

【状況付与】

想定し得る最大級の大雨を伴う台風が山形県に向け進行する中、各市町で内水氾濫や土砂災害、堤防決壊等が発生する状況を付与。

4. 主な感想・課題

- 役場が浸水した場合の災害対策本部をどこに置くかという課題が残った。
- 要配慮者の避難の仕方についてさらに検討を行っていく必要がある。
- 家屋倒壊の対応への応援態勢を確認する必要がある。
- 個別避難計画の策定を進めていくことの重要性を感じた。
- 避難行動を踏まえ、避難指示発令タイミングが重要と感じた。

3. 演習の状況



河川副所長開会挨拶



演習状況



演習状況



課題の取りまとめ状況



演習結果の発表



演習結果の講評